



被ばく労働者に 安全と権利を!

11.9「被ばく労働を考えるネットワーク」設立集会

集会プログラム (予定) 原発事故以降の被ばく労働に関する問題提起＝神奈川労災職業病センター、福島における労働問題と被ばく問題＝いわき自由労組、準備会の経過と取り組み報告／方針提起と福島での相談活動の呼びかけ＝被ばく労働を考えるネットワーク準備会、討論

日時●**2012年11月9日(金)** 18時20分開場／18時30分開始
場所●**江東区亀戸文化センター(カメラプラザ)5階 第1、2会議室**
東京都江東区亀戸2-19-1 (JR総武線、東武亀戸線「亀戸駅」下車徒歩2分)

●…3.11震災から1年半を過ぎましたが、福島第一原発では高線量下での収束作業が続けられています。偽装請負や給与からのピンハネ、違法な天引きなど、従来から指摘されていた雇用関係の問題も大きく報道されています。新たな被ばく労働である除染事業でも、従来同様の労働問題が持ち込まれています。また、下水処理場、清掃工場、港湾、運送、鉄道など各地の労働現場で起こっている放射能問題も、問題は先送りされ不安は解消されていません。

●…これまで、それぞれの運動現場で直面した問題への取り組みは行われてきましたが、それは個別の取り組みにとどまっており、収束作業を含む原発労働についてはほとんど取り組めていないのが現実です。今こそ、福島の労働者と連帯を深めるとともに、労働者の命と安全を守るための広範な運動が求められています。

●…昨年10月、被ばくに関する労働問題の情報を共有し、検討し、共同で取り組む連絡組織として「被ばく労働を考えるネットワーク準備会」が有志により立ち上げられました。1年間のさまざまな取り組みを経て、正式に「被

ばく労働を考えるネットワーク」を設立して本格的な活動を開始します。

●…この問題に関心を寄せられる多くの方に、参加を呼びかけます。

「放射能汚染下で働き、暮らすこと」 講演と相談会 (いわき市)

11月25日(日)午前11時～午後4時30分

講演:村田三郎先生(阪南中央病院)

原発労働者の被ばくの実態、健康影響、
汚染環境下の住民生活で何を注意すべき
か…… 講演は午後1時からの予定です

相談会:労働相談、健康相談、生活相談
別室では整体と鍼灸も用意しています

場所:いわきゆつたり館(いわき湯本駅10分)

主催:同実行委員会

(連絡先＝被ばく労働を考えるネットワーク)

主催●**被ばく労働を考えるネットワーク準備会**

〒111-0021 東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付
090-6477-9358(中村)／info@hibakurodo.net／郵便振替 00170-3-433582